

平成 30 年度自己評価の結果について

社会福祉法人秀峰会
つくし保育園 東戸塚

1. 平成 31 年度の目標

- ①一人一人が研修等の参加を通してスキルアップを図り、園全体の質の向上へ繋げていく
- ②地域子育て支援・交流の強化
- ③開園8年目となり構築された園の土台のもと、新しい事も取り入れて進化をしていく

2. 自己評価の集計結果

つくし保育園東戸塚における自己評価の結果をご報告致します。
今後の保育の質の向上に努めて参ります。

分野	回答	イ	ロ	ハ	計	
		よく出来ている	ほぼ出来ている	努力が必要		
1.	保育の理念・保育観	49.5%	41.9%	8.6%	100.0%	
2.	1) 保育計画・指導計画	53.0%	40.2%	6.8%	100.0%	
	2) 乳児保育	78.3%	20.0%	1.7%	100.0%	
	3) 3歳未満児保育 (1・2歳児保育)	44.6%	44.6%	10.7%	100.0%	
	4) 3歳以上児保育	ア. 基礎的事項	45.8%	47.5%	6.8%	100.0%
		イ. 健康	33.9%	58.5%	7.7%	100.0%
		ウ. 人間関係	27.8%	68.5%	3.7%	100.0%
		エ. 環境	28.3%	67.9%	3.8%	100.0%
		オ. 言葉	38.1%	57.1%	4.8%	100.0%
		カ. 表現	28.6%	60.3%	11.1%	100.0%
		キ. 特別な配慮や支援を必要とする子ども(障害児)の保育	34.2%	41.5%	24.4%	100.0%
ク. 行事	47.0%	46.2%	6.8%	100.0%		
ケ. 延長保育・一時保育	55.4%	43.1%	1.5%	100.0%		
3.	保健活動・安全管理	36.5%	49.2%	14.4%	100.0%	
4.	保護者・地域社会・関係機関との連携	35.6%	44.0%	20.4%	100.0%	
5.	地域の子育て支援	26.4%	53.9%	19.8%	100.0%	
6.	保育園の職務・役割分担	37.9%	47.7%	14.4%	100.0%	
7.	保育士としての資質向上 (研修・研究活動)	31.3%	46.0%	22.7%	100.0%	

3. 平成 30 年度の課題

- ①地域子育て支援の強化では計画に沿って行う事は出来たが、アピール不足だった事もあり園の行事や育児講座等への参加人数が少なかった。
- ②障害児保育の知識や理解については、研修に行く事や園内研修等を通して全職員で理解や知識を深める事は出来たが、関係機関、保育園、保護者間の情報共有が出来なかった。